

第124回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】猫の件について

以前からよその猫が自宅の庭に糞をしていくことについて相談している。自分なりに猫除けの網を張り対策をしており、少しは頻度が減っている。飼い主にも状況を伝えているが、被害を受けていない人にはなかなか伝わらない。躊躇をする様子は見受けられない。群馬県では猫の飼い方についての条例ができたようだ。

⇒【村長コメント】

状況は分かった。群馬県の条例については調べてみる。

⇒【環境政策課コメント】

群馬県では、「群馬県動物の愛護及び管理に関する条例」において。「猫の飼い主の遵守事項」が、令和6年10月1日に努力義務化されました。具体的には、

- ①飼い主としての責任を十分に自覚し、周辺に迷惑を及ぼすことのないようにすること。
- ②みだりに繁殖しないよう、繁殖に関する適切な措置を講じること。
- ③周辺環境を保全するため、屋内飼養に努めること。

などが規定されております。

なお、茨城県においても、群馬県と同様の内容が「茨城県動物の愛護及び管理に関する条例」で、既に規定されております。

【2】－1 図書館への図書寄贈の仕組みについて

佐和にある図書館の中には、立派な寄贈本のコーナーがある。東海村の図書館では寄贈の仕組みはどの様になっているのか。また、図書館に寄贈してもらった方が良いと思う図書についての提案や、図書館から執筆者に図書寄贈のお願いをすることはできるのか。どこに相談すれば良いのか教えてほしい。

⇒【村長コメント】

細かな点については分からぬが、一般の方からの寄贈について図書館は断っていないと思う。寄贈の仕組みや寄贈提案などの話については、図書館長の判断の部分と、運営委員会で判断する部分がある。この件についての相談場所は図書館であり、直接図書館に伺っていただければと思う。私からも図書館長へこういった相談があるということを伝えておく。

【2】－2 図書館で新たな検索システム導入してはどうか

東海村の図書館にはトップクラスになってほしいと思う。図書館の中を歩き回らなくても検索できるようなAIを導入した検索システム・管理システムを導入してはどうか。今は思想ごとに検索したり、AIと会話ができたりするような検索システムもある。デンマークやスウェーデンの図書館では導入されている。このようなシステムがあるということを意識して議論する場を開いてほしい。

⇒【村長コメント】

東海村の図書館では一般的な検索システムはある。今回の提案を議論してもらうことは可能

だと思う。この件についても図書館長に伝えておく。直接話してもらって構わない。

【2】－3 地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業の現状について

地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業の現状についてどうなっているのか教えてほしい。継続していってほしい。

⇒【村長コメント】

現在助成事業は終了している。10年継続し、現在は振り返りを行っている。今後については未定である。

【2】－4 J-PARCについての村の考え方

J-PARCについて東海村はどういう方向で認めているのか。原子力と医学と関係がないのか。

J-PARCの難解な講義を理解できている人はどのぐらいいるのか。

⇒【村長コメント】

J-PARCの目指しているものは基礎科学、素粒子や物理学の世界であり、真理を探究する、サイエンスを探究する国の政策の1つである。その場所として東海村が使われている。東海村として研究内容や事業内容に深くかかわることは考えていない。若い世代の人たちが科学に興味をもち、その道に進むような選択肢の1つが村にあることは魅力である。またJ-PARCでは講義だけではなく、施設公開なども行い村民に理解してもらおうというアプローチを行っている。

【3】中丸コミュニティセンターの利用時間について

月曜日に4時から太極拳を行っている。ぎりぎりまで中に入れないで少し早めに入れるようにしてほしい。コミュニティセンター職員に相談したところ、30分早めに予約を入れればよいのではないかと言われた。そこまでの早い時間は望んでいない。前の団体の利用から30分利用時間を空ける利用方法になっているのに、ぎりぎりまで入れない理由はあるのか。

⇒【村長コメント】

個人的には融通も利きそうな気もするが、役場としてきちんとルールを設け運営しているため、融通を利かせると、どこで線引きして良いのかが難しくなってしまう。決められたルールでない運営をしていると、ルールがルールでなくなってしまう。多くの利用者からの声があがれば、今のルールを見直すことはできると思う。今回のご意見だけでルールを変えることは難しいが、他のコミュニティセンターでも同様の声があがっているのかについては、担当課に調べてもらう。そういう声が多くあり、コミュニティセンター利用率の増加につながるとなれば前向きに検討していける。今後の対応方法については後ほどご連絡する。

⇒【村民活動支援課コメント】

お問合せいただきました、施設の利用時間につきましては、準備に係る時間も含めた形で予約をお願いしていることから、公平な利用となるように、予約時間からの入室を御案内しております。また、センター職員による安全確認と利用者間のトラブルを防止する目的で、利用時間の間を30分空けてご利用いただいております。

現在のところ、予約時間前の利用についてのご要望は多くない状況でございますが、今後も、利用者の皆様の声を聴きながら、適宜運用の改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力を願いいたします。

【4】デマンドタクシー

昨年第111回のふれあいトークでのコミュニティバスの件では、回答ありがとうございました。

現在の公共交通会議での路線バス、デマンドタクシーとAIの導入に関する進捗状況や課題などがあれば教えて欲しい。

また、これらを踏まえての「ライドシェア」や今後の方針、方策などがあれば教えて欲しい。

⇒ 【村長コメント】

デマンドタクシーについてはAIを導入し、配車の効率向上を図った。導入したばかりのため、効果がわかるのはこれからになる。

路線バスについては、昼間に利用している人が少ない傾向があり、どうしても車体の割に乗客が少なくてもったいないと思われがちだが、車体を小さいものに変えるのも余計にお金がかかるようだ。いずれにしても路線バスについては茨城交通さんの判断となる。

ライドシェアについては、担当課に指示し、先行自治体について勉強させているが、導入には、タクシーを呼んでも来ない状況、タクシー会社の運営に影響が無いことが条件になってくる。現在、東海村はそのような状況にはないため、当面導入予定は無い。

【5】東海村テニスコート予約方法の見直しについて

東海村テニスコートを団体利用している。予約をするのにも時間がかかり大変である。

1日に2回テニスコートを訪れる必要があり、朝、黒板に使用したい旨の記入をし、他利用者が書き終えた時間に再度テニスコートを訪れ、利用コートが重なった相手と話し合い調整する必要がある。他の市町村では県のシステムを使いネット予約できているが、東海村では使えない。予約方法を見直してほしい。

⇒ 【村長コメント】

ネットの予約は早い者勝ちとなり混乱する部分もあるのかもしれない。平日で利用者が少なく、他のコートが空いている時間は予約が重ならないのかもしれないが、団体だけではないフリーの利用者の中にも考えなくてはならない。いずれにせよデジタル化で皆さんスマホを持っているので紙での予約や場所に行かなくてはならないという予約方法は変えていかなくてはならない。出来る方法はあると思う。担当に検討してもらうように話してみる。

⇒ 【生涯学習課コメント】

現在、茨城県の主導により、新たな公共施設予約システムの導入に向けた検討・準備が進められており、令和8年度には茨城県内市町村で供用が開始される予定となっています。

村でも、このシステムの導入に向け、茨城県をはじめとした関係機関と連携しながら全般的に準備を進めており、現行の予約方法につきましては、新公共施設予約システムの導入にあわせて見直してまいりたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いします。